

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公表番号】特表2002-509175(P2002-509175A)

【公表日】平成14年3月26日(2002.3.26)

【出願番号】特願2000-540183(P2000-540183)

【国際特許分類】

C 08 L	69/00	(2006.01)
C 08 K	3/00	(2006.01)
C 08 K	5/523	(2006.01)
C 08 L	55/02	(2006.01)
C 08 L	67/00	(2006.01)

【F I】

C 08 L	69/00
C 08 K	3/00
C 08 K	5/523
C 08 L	55/02
C 08 L	67/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 A 芳香族ポリカーボネートまたはポリエステルカーボネート 5~9
5重量部、

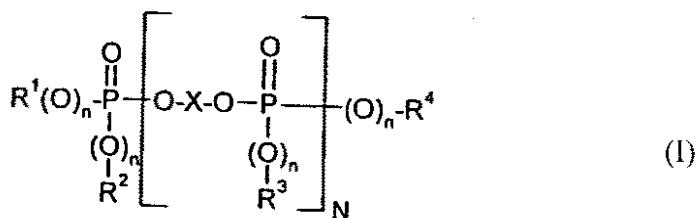
B B . 1 1種または2種以上のビニルモノマー 5~95重量%と、

B . 2 10 未満のガラス転移温度を有する1種または2種以上のグラフト基材 9
5~5重量%との少なくとも1種のグラフトポリマー 0.5~60重量部

C 熱可塑性ビニルコポリマー 0~45重量部

D 一般式(I)：

【化1】



[式中、R¹、R²、R³およびR⁴は、互いに独立して、C₁-C₈-アルキル、C₅-C₆-シクロアルキル、C₆-C₂₀-アリールまたはC₇-C₁₂-アラルキル(これらは、場合により、ハロゲン化される)を示し、

nは、互いに独立して、0または1であり、

Nは、平均5~30の数であり、

Xは、6~30個の炭素原子を有する単核または多核芳香族基を示す。]

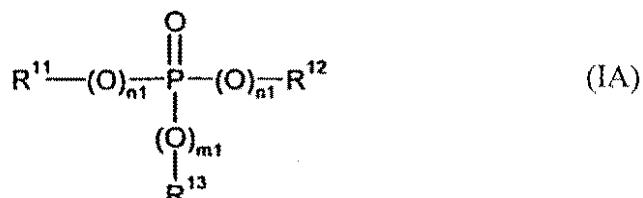
で示される少なくとも 1 種のリン化合物 0 . 5 ~ 2 0 重量部

E フッ素化ポリオレフィン 0 ~ 5 重量部、ならびに

F . 1 200 nm以下の平均粒子直径を有する非常に微細な無機粉体 0 . 5 ~ 40 重量部、および / または

F. 2 式 (I A) ;

【化 2】



[式中、 R^{11} 、 R^{12} および R^{13} は、互いに独立して、場合によりハロゲン化される C_1 - C_8 -アルキルまたは場合によりハロゲン化される C_6 - C_{20} -アリールを示し、 m_1 は、0または1を示し、 n_1 は、0または1を示す。]

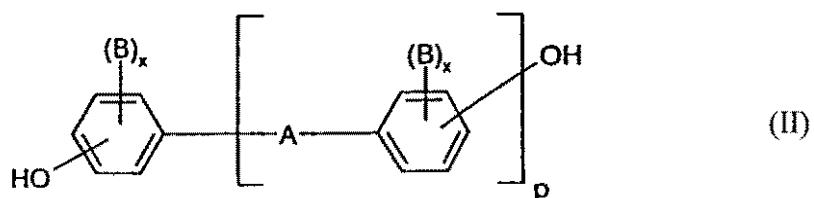
で示されるモノリン化合物 0.5~2.0 重量部

(すべての成分の重量部の合計が 100 である) を含有する難燃性熱可塑性成形組成物。

【請求項2】 式(I)において、R¹～R⁴は、互いに独立して、場合により臭素化または塩素化されるクレジル、フェニル、キシレニル、プロピルフェニルまたはブチルフェニル基を示し、Xは、場合により塩素化または臭素化されるビスフェノールA、レゾルシノールまたはヒドロキノンを示す請求項1に記載の成形組成物。

【請求項 3】 式(Ⅰ)中のXが、式 $\overline{(I\ I)}$:

【化 3】



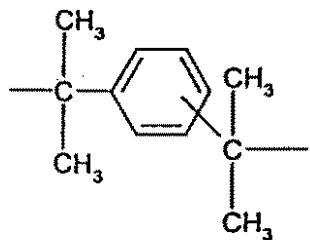
[式中、 A は、 単結合、 $C_1 - C_5$ - アルキレン、 $C_2 - C_5$ - アルキリデン、 $C_5 - C_6$ - シクロアルキリデン、 - O - 、 - SO - 、 - CO - 、 - S - 、 - SO₂ - 、 $C_6 - C_{12}$ - アリレン基（ヘテロ原子を場合により含有する付加的な芳香族環と縮合されうる）または式(I I I) :

【化 4】



で示される基もしくは式（IV）：

【化 5】



で示される基を示し、

Bは、それぞれの場合C₁ - C₈ - アルキル基、ハロゲン、C₆ - C₁₀ - アリール基またはC₇ - C₁₂ - アラルキル基を示し、

xは、それぞれの場合、互いに独立して0、1または2であり、

pは、1または0であり、

R⁵およびR⁶は、個々に、それぞれのX¹に対して互いに独立して、選択され、水素またはC₁ - C₆ - アルキルを示し、

X¹は、炭素を示し、

mは、少なくとも1つの原子X¹上のR⁵およびR⁶が同時にアルキルである条件で、4 ~ 7の整数である。]

で示されるジフェノールから誘導される請求項1に記載の成形組成物。

【請求項4】 成分F.1として、周期律表の第1 ~ 第5主族または第1 ~ 第8亜族の1種の金属と元素酸素、硫黄、ホウ素、炭素、リン、窒素、水素もしくは珪素またはこれらの混合物との化合物を含有する請求項1 ~ 3のいずれかに記載の成形組成物。

【請求項5】 成分F.1が、TiO₂、SiO₂、SnO₂、ZnO、ベーマイト、ZrO₂、Al₂O₃、リン酸アルミニウム、酸化鉄ならびにこれらの混合物およびこれらのドープ化化合物から選択される少なくとも1種の化合物である請求項1に記載の成形組成物。

【請求項6】 成形品の製造のための請求項1 ~ 5のいずれかに記載の成形組成物の使用。

【請求項7】 請求項1 ~ 6のいずれかに記載の成形組成物から製造される成形品。